

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	第 1 学 年	国 語

1 学習のねらい等

学習のねらい	○自分の考えを大切にし、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする力を育てます。 ○さまざまな材料をもとにして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てます。 ○様々な種類の文章を読み内容を的確に理解する能力を高めるとともに、それらを効果的に活用しようとする力を育てます。 ○幅広い言語知識と確かな筆記力を身に付けさせます。 ○読書に親しみものの見方や考え方を広げようとする態度を育てます。
使用教材	教科書：『国語1』（光村図書），『新しい書写 一・二・三年』（東京書籍） 補助教材：国語の学習（明治図書）・漢字の学習（明治図書） すらすら基本文法（浜島書店）・国語便覧（浜島書店）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①国語への関心・意欲・態度	- 授業の用意を整え、積極的に学習活動に取り組める。 - 予習や課題に取り組み、提出物は期限を守って出せる。 - ノートをわかりやすくまとめられる。 - 多分野の本に関心を持ち、進んで読書ができる。	- 学習活動への参加の仕方や態度 - 課題の提出状況と内容 - ノートやワークなどの作成状況 - 定期テストや評価テスト
②話す・聞く能力	- 自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえようように話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりすることができる。 - 文章の内容をとらえて、朗読することができる。	- 課題の提出状況と内容 - ノートや課題プリントなどの作成状況 - 定期テストや評価テスト
③書く能力	- 身近な生活や学習の中から課題を見付け、材料を集め、自分の考えをまとめられる。 - 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすることができる。	- 課題作品の提出状況と内容 - ノートや課題プリントなどの作成状況 - 定期テストや評価テスト - 読書感想文
④読む能力	- 文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解することができる。 - 文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約することができる。 - 文章の中心の部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けて、文章の構成や展開を正確にとらえ、内容を理解できる。	- 課題の提出状況と内容 - ノートやワークなどの作成状況 - 定期テストや評価テスト
⑤言語についての知識・理解・技能	- 漢字の読み書きが正確にでき、言葉のきまり（文法）が理解できる。 - 意欲的に辞典を活用し、文中の語句の意味がわかる。 - 様々な言葉を知り、活用することができる。 - 文字の書き方を工夫し、丁寧に書ける。 - 古文について、基本的な事柄が理解できる。	- 課題作品の提出状況と内容 - 定期テストや評価テスト - 定期テストや評価テスト、漢字テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	言葉に出会うために 基礎基本「野原はうたう」 学びをひらく 物語「花曇りの向こう」 説明「わかりやすく説明しよう」 練習「情報を的確に聞き取る」 漢字「漢字の組み立てと部首」 新しい視点へ 説明「ダイコンは大きな根」 説明「ちょっと立ち止まって」 練習「記録のしかたを工夫する」 話す・紹介「『好きなもの』を紹介しよう」 情報「情報の集め方を知ろう」 言葉「話し言葉と書き言葉」 言葉をつなぐ 詩「詩の世界」 紹介「言葉を集めよう」 随筆「空を見上げて」 文法「言葉のまとまりを考えよう」	①作者の物の見方などをとらえることができる。 ②話の構成や展開を考えて聞き分け、ノートにまとめることができる。 ②声の大きさ、速度、調子を考えて、相手にわかりやすく伝えることができる。 ③論理の展開を読み取り、それに対する自分の考えを書くことができる。 ④登場人物の行動から、気持ちの変化をとらえることができる。 ⑤漢字の字形を組み立てと部首から理解し、書体についての知識を深めることができる。 ⑤言葉の単位について理解することができる。
2 学期	つながりの中で 物語「星の花が降るころに」 物語「大人になれなかった弟たちに……」 記録「シカの『落ち穂拾い』」 報告「調べたことを報告しよう」 漢字「漢字の音訓」 言葉「指示する語句と接続する語句」 いにしえの心にふれる 古文・音読「いろは歌」 古文・解説「月に思う」 古文「蓬萊の玉の枝ー『竹取物語』から」 漢文「今に生きる言葉」	①古典の作品に触れることで、古典への興味や関心をもつことができる。 ②伝える目的に応じて、情報を検索したり選択したりして正しく話すことができる。 ③語句や表現に即して場面の状況を読み取り、自分の意見をまとめることができる。 ④展開に即して、人物のおかれた状況や人間関係を読み取ることができる。 ⑤語句・語彙について理解を深め、正しく用いることができる。 ⑤主語・述語・修飾語の関係と文の組み立てについて理解することができる。

3 学 期	書写 ・毛筆，硬筆 論点を捉えて 説明「幻の魚は生きていた」 練習「流れを踏まえて話し合う」 討論「話題や方向を捉えて話し合おう」 練習「感じたことを整理する」 鑑賞「根拠を明確にして魅力を伝えよう」 詩「竹」 文法「言葉の関係を考えよう」 自分を見つめて 小説「少年の日の思い出」 言葉「さまざまな表現技法」 漢字「漢字の成り立ち」	①準備物を整え，何度も楷書や行書に取り組もうとする。 ②調べたことをわかりやすくまとめ，相手に伝えようとするができる。 ③読みやすく，分かりやすい文章になるよう工夫して書くことができる。 ④人物の行動や会話に即して作品を読み進めることができる。 ⑤基本的な楷書や行書の書き方を理解することができる。 ⑥言葉を働きによって分類することができる。
	言葉「さまざまな表現技法」 漢字「漢字の成り立ち」 説明・創作「印象深く思いを伝えよう」 文法「単語の性質を見つけよう」 報告・説明「一年間の学びを振り返ろう」 詩「ぼくが　ここに」	

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・授業に集中して取り組み，人の意見をしっかり聞き，自分の意見を進んで発表しよう。 ・提出物をこなし、漢字テストや課題のプリント等で確実に点数を取りましょう。 ・板書はていねいにノートにまとめ，配られたプリント類は保管して見直しましょう。 ・図書室を利用するとともに，朝の読書に落ち着いて取り組みましょう。
	家 庭	・教科書を繰り返し，音読しましょう。 ・わからない漢字や語句は，積極的に辞書で調べましょう。 ・漢字の学習にそって，これまでに学習した漢字の復習に取り組みましょう。 ・本や新聞などを積極的に読みましょう。 ・作文は，まずはたくさん書くことを心がけましょう。そして，自分の考えや思いを整理しながら，相手に伝わる文章にしていきましょう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	1 年	社 会

1 学習のねらい等

学習のねらい	<地理的分野> ○地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高める。 ○様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的に考察し公正に判断する能力や態度を身につける。 ○人々の生活には地方的特殊性と一般的共通性があることを理解し、それらを成り立たせている地理的諸条件を考える。 ○自然および社会的条件と人々の生活の関係は人間の活動によって変化し、それに伴って地域も変容していることを理解する。 ○世界や日本の大小さまざまな地域は相互に関係しあっていることを理解する。 <歴史的分野> ○身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高める。 ○資料を活用して多面的・多角的に考察して、公正に判断し、適切に表現する力や態度を身につける。 ○わが国の歴史の流れを大きくとらえ、各時代の特色をつかむようにする。 ○歴史上の人物、各時代の文化遺産などに関する学習を通して歴史を具体的に理解する。 ○わが国と諸外国の歴史や文化とのかかわりを考えたり、他民族の文化、生活などに関心を持ったりすることなどにより、国際協調の精神を身につける。
使用教材	教科書：『社会科 中学生の地理』（帝国書院） 『新編 新しい社会 歴史』（東京書籍） 補助教材：資料集『アクティブ地理 総合・白地図作業帳』（浜島書店） 『つながる歴史』（浜島書店） 『四日市市・三重郡全図、遺跡地図』（帝国書院） 問題集『自主学習 地理1』（新学社） 『自主学習 歴史1』（新学社）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
① 社会的事象への関心・意欲・態度	地理的・歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、広い視野に立ってわが国の国土の特色や文化について認識を養おうとする。	・授業中の発言や学習活動 ・課題や宿題などの内容・姿勢 ・ファイル・自主勉ノートやワーク等の提出状況 ・定期テストや小テスト
② 社会的な思考・判断・表現	地理的事象から課題を見だし、日本の地域的特色を多面的・多角的に考察し、公正に判断する。 歴史的事象から課題を見だし、歴史の流れと時代の特色を多面的多角的に考察し、公正に判断する。	・授業中の発言 ・課題や宿題への取り組み状況 ・ファイル・自主勉ノートやワーク等の取り組み状況 ・定期テストや小テスト
③ 資料活用の技能	地図や統計、映像など地域に関する資料や年表・歴史地図などの資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、報告書などにまとめたり、発表や討論などを行ったりする。	・授業中の発言 ・課題や宿題等への取り組み状況 ・ファイル・自主勉ノートやワーク等の取り組み状況 ・定期テストや小テスト
④ 社会的事象についての知識・理解	世界の地域構成、地域の規模に応じてとらえた地域的特色、世界と比べてみた日本の地域的特色などを理解し、その知識を身につけている。 歴史の大きな流れと各時代の特色などを世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。	・授業での発言 ・定期テストや小テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	「国際連合のはたらきと日本人の役割」 (前年度分) ＜地理的分野＞ 第1部「世界のさまざまな地域」 第1章「世界の姿」	① 陸と海洋の大まかな形, 世界の国々の名称と位置などを意欲的に学習しようとする。 ② 緯度と経度, 時差, 大陸と海洋の分布, おもな国々の名称と位置などをもとに世界の地域構成を考察している。 ③ 地球儀や世界地図を活用して, 地球上の位置の表し方や球面上の位置関係をとらえている。 ④ 大陸と海洋の大まかな形, 世界の国々の名前と位置に関する知識を身につけている。
	第2章「世界各地の人々の生活と環境」	① 世界各地の人々の生活と環境の多様性を意欲的に学習しようとする。 ② 世界各地の人々の生活と環境の多様性を, 自然および社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容をもとに, 多角的・多面的に考察する。 ③ 世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する資料等を用いて, 説明する。 ④ 世界各地の人々の生活と環境の多様性を, 比較や関連の視点から追求する方法を理解する。
	第2部「日本のさまざまな地域」 第4章「身近な地域の調査」	① 身近な地域の特色や課題について, 意欲的に調べようとする。 ② 身近な地域の地理的な事象を基にして適切な課題を設定する。 ③ 縮尺や等高線, 地図記号についての情報を適切に活用する。 ④ 縮尺や等高線, 地図記号について正しく理解する。
1 学期 ～ 2 学期	第3章「世界の諸地域」 ・アジア州 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州	① 各州, 各国の地理的事象に対して, 意欲的に調べようとする。 ② 各州, 各国の地理的事象に対して, 多面的・多角的に考察する。 ③ 各州, 各国の地理的事象に対して, 地図や統計資料等を用いて, 説明する。 ④ 各州, 各国の地理的事象に対して, 比較や関連の視点から迫する方法を理解する。
2 学期	第4章「世界のさまざまな地域の調査」	① 取り上げた都道府県の地理的事象に対して, 意欲的に調べようとする。 ② 取り上げた都道府県の地理的事象に対して, 多面的・多角的に考察する。 ③ 取り上げた都道府県の地理的事象に対して, 地図や統計資料等を用いて, 説明する。 ④ 取り上げた都道府県の地理的事象に対して, 比較や関連の視点から迫する方法を理解する。

2 学 期	<歴史的分野> 第1章「歴史の流れをとらえよう」	①身近な地域の歴史に対する関心を高め、意欲的に調べようとする。 ②身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域の具体的な事柄とわが国の歴史とのかかわりを考察する。 ③身近な地域の歴史を調べる活動を通して、様々な資料を収集し、適切に選択して活用する。 ④身近な地域の具体的な事柄とかかわらせて、わが国の歴史を理解する。
2 学 期 ～ 3 学 期	第2章「古代までの日本」 1節「世界の古代文明と宗教のおこり」 2節「日本列島の誕生と大陸との交流」 3節「古代国家の歩みと東アジア世界」	①国家が形成されていく過程について意欲的に学習する。 ②文明が発生する要因や、わが国の国家が形成されていく過程を東アジアとの関係で説明する。 ③年表においてそれぞれの出来事の因果関係について、矢印などを使用して簡潔にわかりやすくまとめる。 ④人類の誕生から平安時代までの歴史的事象について理解する。
3 学 期	第3章「中世の日本」 1節「武士の台頭と鎌倉幕府」 2節「東アジア世界との関わりと社会の変動」	①中世の歴史的事象について、意欲的に学習する。 ②中世の歴史的事象について、多面的・多角的に考察する。 ③諸資料を多面的・多角的に考察し、自説の根拠として利用する。 ④中世の歴史的事象を多面的・多角的に理解する。

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・授業中は、必要な教材を開いて先生の話や友達の発言を集中して聞こう。 ・黒板に書いたことだけでなく、友達の発言など、自分で気づいたことなどをプリントに工夫してまとめよう。 ・クラスでの話し合いなど授業の活動に積極的に参加し進んで発表しよう。 ・疑問があれば、小さいことでも先生に質問しよう。 ・ファイル・自主勉ノート、ワークなどの提出物は期日を守ろう。忘れ物をしないようにしよう。
	家 庭	・授業のあった日は、必ず自主勉ノートに書いて復習するようにしよう。自分で工夫して整理しよう。(地図や年表を作成することもよい。) ・授業があったところの教科書のページを開き、声を出して読んでみよう。 ・授業で出てきた地名は地図帳で位置の確認、出来事は年表で確認しよう。 ・授業で習ったところはワークで何度も確認しよう。 ・興味のあるできごとや地域、歴史上の人物を積極的に調べよう。 ・毎日、新聞やテレビなどのニュース（政治・経済・文化）に興味を持とう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	1 学 年	数 学

1 学習のねらい等

学習のねらい	○数を負の数まで拡張し、数についての理解を深めよう。また、文字を用いることの意義及び方程式の意味を理解し、数量などの関係や法則を簡潔に表現し処理できるようになる。 ○具体的な事象を通して、比例・反比例の見方や考え方を深め、数量の関係を表現し考察する力を培おう。 ○平面図形や空間図形について観察・操作などを通して、図形に関する見方考え方を深め、論理的に考察する基礎を身につけよう。 ○ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解し、資料を活用できる力を培おう。
使用教材	教 科 書：「未来へひろがる数学1」（啓林館） 問 題 集：「完成問題集1年」（三泗中学校数学研究会） 「数学の問題ノート」（新学社） 「パワーアップシート」（新学社）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①数学への 関心・意欲・ 態度	数学的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・問題集や配布プリントへの取り組み状況 ・配布教材などの取り組み状況
②数学的な 見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り考えを深める。	・プリントやノート等への記述内容 ・定期テストや小テスト ・問題集での誤答分析 ・操作活動等の中での考察内容
③数学的な 技能	事象を数量、図形などで数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身に付けている。	・定期テストや小テスト
④数量や図形などについての 知識・理解	量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。	・定期テストや小テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 期	1 章 正の数・負の数 §1 正の数・負の数 §2 正の数・負の数の計算 §3 正の数・負の数の利用	① 身の回りの事象を、正の数・負の数で表そうとする。 ② 正の数・負の数の加法・減法を説明できる。 ③ 正の数・負の数の加減乗除の計算ができる。 ④ マイナス、プラス、正の数、負の数、自然数などの意味を説明できる。
	2 章 文字の式 §1 文字を使った式 §2 文字式の計算	① いろいろな数量を、文字を使って表そうとする。 ② 文字式が書かれているとき、それがどのような数量を表しているか考えることができる。 ③ 一次式の加減乗除の計算ができる。 ④ 代入する、文字の値、式の値等の意味を説明できる。 不等号を使って関係を表すことができる。

2 学 期	3章 方程式 §1 方程式 §2 方程式の利用	① 方程式を利用して問題を解決しようとする。 ② 方程式を利用して問題を解決し、その過程を振り返って考えることができる。 ③ 等式の性質を使って、方程式を解くことができる。比例式を解くことができる。 ④ 等式の性質を理解している。
	4章 比例・反比例 §1 関数 §2 比例 §3 反比例 §4 比例・反比例の利用	① ともって変わる2つの数量の関係を見つけようとする。 ② 2つの数量関係に着目し、変化や対応から比例や反比例の関係を見いだすことができる。 ③ 比例や反比例の関係を式に表したり、グラフに表したりすることができる。 ④ 変数、定数、比例、比例定数、変域等の意味を理解している。
	5章 平面図形 §1 直線図形と移動 §2 基本の作図 §3 円とおうぎ形	① 平行・回転・対称移動に関心を持ち、いろいろな図形を移動させた図をかこうとする。 ② 身のまわりにある図形を直線や角などとみて、垂直や平行などの図形的関係をとらえることができる。 ③ 定規とコンパスだけを使って、垂直二等分線、角の二等分線、垂線の作図ができる。 平行・回転・対称移動を使って図を移動できる。 ④ π の意味や円、おうぎ形の周の長さや面積の公式の意味を理解している。
3 学 期	6章 空間図形 §1 立体と空間図形 §2 立体の表面積と体積	① 立体をどのようにみたり表したりすれば表面積が考えやすいか、調べようとする。 ② 立体を、線分や平面図形を動かしてできる立体とみることができる。 ③ 立体の表面積を、いろいろな場合について求めることができる。 ④ 表面積、底面積、側面積の用語や各立体の表面積や体積の求め方を理解している。
	7章 資料の活用 §1 資料の傾向を調べよう	① 資料から特徴を見つけようとしたり、資料を整理して傾向を調べようとしたりすることができる。 ② 資料を見て特徴をつかむことができる。 ③ 資料を整理することができる。 ④ 度数分布表やヒストグラムが理解できる。

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	★先生の話したことで大事だと思ったことは、ノートにメモしていこう。 ★課題等には積極的にチャレンジし、1つでも多くの事象について考えていこう。 ★用語は1つ1つ意味を確実に覚えて、活用していこう。 ★「何故だろう」という気持ちを大切にしながら、取り組んでいこう。わからないことはどんどん質問して、授業の中で理解できるようにしよう。
	家 庭	★宿題は必ずやるのはもちろん、その日の授業内容を問題集等で振り返っていこう。数学は何より復習が大事。毎日コツコツと努力して、しっかりとした力をつけていこう。 ★問題集等での答え合わせで、間違いに対する原因をしっかりと確かめ、次回には正答になるように、しっかりと見直しをしていこう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	第 1 学 年	理 科

1 学習のねらい等

学習のねらい	○自然の事物や現象に興味・関心をもって進んでかかわり，疑問をもって意欲的に探求しましょう。 ○目的意識をもって観察や実験などを行い，観察・実験の技能を身につけ，観察，実験の結果を分析して解釈し表現する能力を身につけましょう。 ○自然の事物や現象について理解を深めて，科学的に説明できるようにしましょう。 ○自然の事物や現象に対する科学的な見方や考え方を身につけましょう。
使用教材	教科書：『未来へひろがるサイエンス1』，『未来へひろがるサイエンス1マイノート』（啓林館） 移行用補助教材：『未来へひろがるサイエンス1』（啓林館） 補助教材：「理科ノート」 ワーク『よくわかる理科の学習1』（明治図書）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①自然事象への関心・意欲・態度	自然の事物・現象に進んでかかわり，それらを科学的に探究するとともに，事象を人間生活とのかかわりでみようとする。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・課題（授業プリントや夏休みの課題など）の取り組み状況 ・ノートやワーク等の取り組み状況 ・定期テストや小テスト
②科学的な思考・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし，目的意識をもって観察，実験などを行い，事象や結果を分析して解釈し，表現している。	・課題（レポート，授業プリントや夏休みの課題など）の考察などの記述 ・定期テストや小テスト
③観察・実験の技能	観察，実験を行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	・授業中の実験・観察の操作 ・課題（レポート，授業プリントや夏休みの課題など）の記録 ・パフォーマンス（実技）テスト ・定期テストや小テスト
④自然事象についての知識・理解	自然の事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	・課題（授業プリントや夏休みの課題など）の記述 ・定期テストや小テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	○人と環境（前年度分） ○自然の中に生命の営みを見つけてみよう ○[生命]植物のくらしとなかま ・植物という「いきもの」 1 章 花のつくりとはたらき 2 章 水や栄養分を運ぶしくみ 4 章 植物のなかま分け - A 章 動物のなかま	①植物の体のつくりやはたらきに興味をもち，進んで学習している。 ②植物の体のつくりをそのはたらきと関連付けて考えることができる。 ③顕微鏡などの器具の正しい操作や観察，記録の仕方を身につける。 ④植物の体のつくりやはたらきを理解し，説明することができる。 ⑤身近な動物を観察し，動物の体のつくりをその生活と関連づけて考えることができる。

2 学 期	○[物質]身のまわりの物質 ・窓に利用されるもの 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化	①身のまわりの物質の性質や変化に興味をもち、意欲的に学習している。 ②物質の性質や変化のちがいを利用して物質を見分ける方法を考えることができる。 ③ガスバーナーなどの器具の正しい操作や化学実験の方法を身につける。 ④物質の性質や変化を理解し、状態変化や溶解について粒子モデルと関連付けて説明することができる。
	○[エネルギー]光・音・力による現象 ・身のまわりには、どのようなしくみがかくされているのだろうか 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	①光や音、力に関する身近な現象に興味をもち、意欲的に学習している。 ②光や音、力に関する実験からその性質や規則性を見いだすことができる。 ③実験を行い、その結果を図示したり計算したりすることができる。 ④光や音、力の性質や規則性を理解し、それらによる身近な現象を説明することができる。
3 学 期	○[地球]活きている地球 ・地球内部の謎にせまる 1章 大地がゆれる 2章 大地が火をふく 3章 大地は語る	①火山の噴火や地震などの事象に興味をもち、意欲的に学習している。 ②現在の地形などから過去の変動を推測することができる。 ③岩石を観察し、そのつくりの特徴をスケッチなどで記録することができる。 ④岩石のつくりや地形の特徴を過去の変動などと関連付けて理解し、説明できる。

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	1 授業の学習内容で興味や関心のあることは、教科書や資料集などで調べてみましょう。 → 疑問や知りたいと思ったことは授業でどんどん質問しましょう。 2 授業は真剣に、集中して、積極的に取り組みましょう。 特に、観察や実験は学校でしかできなかつたり、やり直す時間がなかつたりするので、大切にしましょう。 3 復習はその日のうちに行い、授業の内容を思い出しながら、教科書や理科ノート、教科書の確認、授業プリントなどをもう一度見直しましょう。 (記憶が鮮明なその日のうちに復習すれば、短時間でできます。) 4 ワークで問題を解いてみましょう。わからないときは解説を読んで、再び挑戦です。 (「わかる」から、知識を使って「できる」まで高めましょう。また、答えが合っているだけでなく、「考え方」まで正しく自分で説明できるようにしましょう。) 5 自分でまとめ用ノートを作ったりして、図や表を使って理解を深めることも大切です。 ◎理科の学習(科学)は、身の回りのいろいろなものや現象に深く関わっています。学習したことを身の回りのものや現象に関連させて考える習慣をつけましょう。また、世の中の様々な場面で科学の成果が生かされています。生活するにも、仕事をするにも、科学と無関係ではありません。仕組みを理解して、普段の生活で科学を上手に使っていくことが大切です。
------------------	---

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	1 学 年	音 楽

1 学習のねらい等

学習のねらい	○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 ○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。 ○多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。
使用教材	教科書：『中学生の音楽1』『中学生の器楽』（教育芸術社） 補助教材：合唱曲集『コーラス フェスティバル』（正進社） 鑑賞用プリント 器楽：箏

2 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 音楽への関心・意欲・態度	音楽に親しみ進んで音楽を表現し、鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・プリントや課題等の提出状況や内容 ・活動中の様子 ・実技テスト（歌唱、器楽） ・定期テスト
② 音楽表現の創意工夫	感性や想像力を働かせて、音楽をより美しいものにしようと曲想やイメージをふくらませることができる。 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うことができる。 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができる。	・定期テスト ・実技テスト（歌唱、器楽） ・プリントや課題等の内容 ・活動中の様子
③ 音楽表現の技能	歌唱の音程が正確である。 アクセントやリズム、強弱やテンポを適切に演奏に活かすことができる。 楽曲に表記されている用語や記号などについて理解できている。	・実技テスト（歌唱、器楽） ・活動中の様子 ・定期テスト
④ 鑑賞の能力	作品の構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り、鑑賞することができる。 範唱や演奏、仲間の演奏や発表を熱心に聴いている。	・プリントや課題等の内容 ・活動中の様子 ・合唱コンクール

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	○校歌との出会い 「西陵中学校校歌」（合唱） ○ソネットを手がかりに、曲想の変化を感じ取って聴こう（鑑賞） 「春」～第一楽章～ ○箏を演奏しよう（器楽） 箏「さくらさくら」	（全学期共通） ① ・毎回の授業に意欲的に取り組む。 ・よい姿勢で歌や演奏に取り組む。 ・授業中に意欲的に発言する。 ② ・歌詞の内容やリズム、曲の構成などの要素を聴き取り、それらの働きが生み出す曲の雰囲気を感じ取りながら、どのように表現するか工夫している。 ・歌唱の発声がやわらかく響きがある。 ・歌唱活動において、表現豊かに演奏できる。
2	○指揮をしてみよう（実技）	③ ・アクセントやリズム、強弱やテンポなど楽譜の表記通りに演奏でき

学 期	○合唱コンクールの取り組み 全校合唱「大切なもの」 学年合唱「(未定)」 自由曲「(未定)」 ○情景を思い浮かべながら、思い をこめて歌おう「赤とんぼ」(合 唱)	る。 ・正しい音程で歌う，言葉の区切りや意味を考えて歌うなどの基礎 的な技能を身につけて歌う。 ・曲種に応じた発声により，言葉を大切にしながら表現できる。 ・歌詞の明瞭な発音ができる。 ・楽曲に出てくる用語や記号などについて理解できる。
3 学 期	○想いを歌に託そう (合唱) 「そのままの君で」 ○アジア各地の音楽に触れ、その 良さを味わおう (鑑賞)	④ ・鑑賞中の態度が適切で集中できる。 ・地域や楽器の特徴，音楽の多様性に関心を持ち鑑賞する学習 に意欲的に取り組む。 ・鑑賞曲を聴き，作曲者の意図，心情を感じ取ったり，情景をイメ ージしたりしながら聴く。 ・テストにおいて，作曲家についての詳細や楽曲の歴史的な背景 をしっかりと理解できる。

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	○ チャイムが鳴る前に教室を移動し，所定の座席に座りましょう。 ○ みんなで協力してパート練習や活動を行いましょう。 ○ 鑑賞態度に気を付け，マナーを守って落ち着いて取り組みましょう。
	家 庭	○ いろいろな音楽に興味を持とう。ジャンルにとらわれずいろいろな音楽を聴いたり 見たりしましょう。 ○ 合唱をつくりあげていく過程では，授業以外でも歌って練習しましょう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	1 学 年	美 術

1 学習のねらい等

学習のねらい	○ 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を育てる。 ○ 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 ○ 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを感じ取る鑑賞の能力を育てる。
使用教材	教科書『美術1 出会いと広がり』（日本文教出版） 資料集『美術資料』（秀学社）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
① 美術への 関心・意欲・態度	主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術に関心を持っている。	・授業への取り組み ・提出物 ・授業の準備物・定期テスト・振り返りシート ・各種ワークシート
②発想や構想の 能力	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。	・ワークシート、アイデアスケッチ・作品 ・定期テスト
③創造的な技能	基礎的な表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す。	・制作過程 ・ワークシート ・作品 ・定期テスト
④鑑賞の能力	自然や美術作品などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさを感じ取り味わったり、学びの広がりを実感したりする。	・鑑賞会での取り組み ・自己評価シート ・各鑑賞シート ・定期テスト ・美術館レポート（任意）

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 年 1 学 期	【オリエンテーション】 ・ 授業の進め方について	① 美術の表現の広さや面白さを知り、自分の制作意図や意欲につないでいる。
	【絵画】 ・ 鉛筆素描	① 鉛筆の持ち方、タッチの種類、調子のつけ方を学び、表現の基礎を身につけることができる。 ② 対象をよく観察し、形をしっかりとらえることができる。 ③ 明暗表現のための鉛筆によるグラデーションをきれいに作ることができる。
	【作品鑑賞】 【デザイン】 ・ レタリング基礎	④ 自分や友人の作品から素描のよさや美しさを味わおうとすることができる。 ① 文字が果たす役割や表現方法を知ろうとする。 ② 基本書体である明朝体やゴシック体を書けるようになる。
	【鑑賞】 ・ 芸術家の作品鑑賞	① 自分の感性や想像力を働かせて、作品のよさや美しさ、作者の意図を感じ取ろうとしている。 ① さまざまな美術作品、美術文化や文化遺産などを鑑賞し、その特質や相違と共通性に気づき、美術文化とそれを通じた国際理解を深めようとしている。

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 年 2 学 期	【デザイン】 ・色の学習 【デザイン】 ・文字絵 【鑑賞】 ・芸術家の作品鑑賞	① 色彩の基礎的知識を学び、生活との関わりについて考えようとすることができる。 ② デザイン用絵具（ポスターカラー）の正しい使い方を身につけようとすることができる。 ① 文字を使って伝達性のあるデザインを考えようとすることができる。 ② ユーモアや遊び心のあるアイデアを考えようとすることができる。 ③ 目的に合った配色の工夫をし、きれいに彩色しようとする。 ① 自分の感性や想像力を働かせて、作品のよさや美しさ、作者の意図を感じ取ろうとしている。 ② さまざまな美術作品、美術文化や文化遺産などを鑑賞し、その特質や相違と共通性に気付き、美術文化とそれを通じた国際理解を深めようとしている。
1 学 年 3 学 期	【デザイン】 ・文字絵 【作品鑑賞】	① 作品の意図を感じ取り、鑑賞しようとすることができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	・授業中は教科書・資料集・ファイル(3点セット)やそのときに指示された準備物（絵具セットや鉛筆セットなど）を準備して、聴く姿勢を維持しよう。 ・絵画・立体・デザインの創作では、アイデアスケッチや資料を基に、習得した技術を活かしながら自分の想いや考えを表現しよう。 ・自分の想いと表現を追求する為に、集中して取り組もう。 ・個人で表現を深める時間と、仲間との意見交流により表現の幅を広げる時間との切り替えを明確にして取り組もう。 ・自分の意図通りに制作が進まない時は、意欲的に質問を重ね、意見交流と鑑賞も積極的に生かそう。 ・作品、プリント類の提出期日厳守。
	家庭	・日常生活の中で、身近な事柄と美術のつながりを考えよう。 ・テストは実技もあるので、範囲内の課題の練習を当日までに行い、資料と授業で習得したことを生かせるようにしよう。 ・休日などに近隣の美術館に足を運び、本物のすばらしさを体感しよう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	1 学 年	保健体育（保健分野）

1 学習のねらい等

学習のねらい	個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していけるようにする。
使用教材	教科書：保健体育（大修館）・オリジナルワークシート

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①健康・安全への関心・意欲・態度	自他の心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、進んで学習に取り組もうとする。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・ワークシートの記入，提出状況 ・定期テスト
②健康・安全についての思考・判断	自他の心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に考え、選択すべき行動を適切に判断できる。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・ワークシートへの記述 ・定期テスト
③健康・安全についての知識・理解	健康・安全の意義を理解するとともに、心身の機能の発達や心の健康，健康と環境，傷害の防止，健康な生活と疾病の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し，その知識を身に付けることができる。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・ワークシートへの記述 ・定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1学期 ～ 3学期	1. 心身の機能の発達と心の健康 (1) 体の発育・発達 (2) 呼吸器・循環器の発育・発達 (3) 生殖にかかわる働き of 成熟 (4) 性への関心と行動 (5) 心の発達と社会性 (6) 自己形成 (7) 欲求と欲求不満 (8) 心と体のかかわり (9) ストレス対処と心の発達	① 心身の機能の発達や心の健康などについて，興味・関心を持ち，意欲的に学習に取り組もうとしている。 ② 心身の機能の発達や心の健康などについて，自分の経験をもとに課題を見つけて解決の方法を考えることや，学習したことを日常の生活と関連付けて考えることができる。 ③ 年齢が上がるにつれて起こる各器官の発達の傾向に性差，個人差などがあることを理解し，思春期に起こる心身の変化や思春期は生殖機能の成熟や認識が深まる重要な時期であることを理解することができる。 心身の健康を保つため，心身の調和を保つことの大切さや欲求やストレスに適切に対処する方法を身につけることができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	・日頃から自分自身の心と体に興味・関心を持って生活をし，学習内容を日常生活に活かせるようにしましょう。 ・心身の健康管理を心がけましょう。
------	--

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	1 学 年	保健体育（体育分野）

1 学習のねらい等

学習のねらい	○ さまざまな運動の実践を通して、課題を解決するなどにより運動の楽しさや喜びを味わうとともに運動技能を高めることができる。 ○ さまざまな運動を適切に行うことによって、体の調子を整えるとともに、体力の向上を図る。 ○ 運動における競争や協同の経験を通して、公正な態度や、進んで規則を守り互いに協力して責任を果たせるようになる。また、健康・安全に留意して運動をすることができるようになる。
使用教材	教科書：保健体育（大修館） 補助教材：ビジュアル新しい体育実技（東京書籍）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動の特性や学び方に関心を持ち、自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 公正、協力、責任などの態度を身につけるとともに、健康・安全に留意して運動をしようとする。	・授業中の学習活動への取り組み状況（態度、発言、行動、発表） ・学習カードの記述、提出状況
②運動や健康・安全についての思考・判断	運動の特性に応じて、自己やチームの課題を見つけ、解決を目指して練習や活動の仕方を考え、工夫している。	・授業中の学習活動への取り組み状況（行動、声かけ、練習内容など） ・定期テスト
③運動の技能	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身につける。	・技能テスト
④運動や健康・安全についての知識・理解	運動の特性と学び方、ルールや審判、安全の確保の仕方を理解し、知識を身につけている。	・ワークシートへの記述 ・定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	A 体づくり運動 ○体ほぐしの運動 ○体力を高める運動 準備運動・集団行動・体力測定	①体づくり運動に興味・関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。 ②自己の体力や能力を知り、課題解決のための方法を考えて実践することができる。 ③準備運動や集団行動を正しく行うことができる。 ④運動の特性や学び方、準備運動の必要性や体力測定の方法を理解することができる。
	H 体育理論 ○運動やスポーツの多様性	
	E 球技（ネット型） ○バドミントン	①ネット型スポーツに興味・関心を持ち、楽しさや喜びを味わおうとしている。 ②自己の能力に応じて課題を持ち、練習を工夫することができる。 ③基本的なパスやサーブができる。 ④技能のポイントやルールを理解することができる

2 学 期	C 陸上競技 ○短距離走・リレー ○ハードル走	④陸上競技に興味・関心を持ち、全力を出して競争し、記録を向上させようとしている。 ⑤自己の能力に適した目標記録や課題を設定し、練習の仕方を選ぶことができる。 ⑥スタート方法や走法、跳躍フォームなど基本的な技能を身に付けることができる。 ④陸上競技の特性や学習の進め方、ルールや競技方法を理解することができる。
	E 球技（ベースボール型） ○ソフトボール	① 今もっている技能の程度などを把握し、新たな課題を発見することができる。 ② ルールや競技方法を理解することができる。 ③ 種目の特性や学び方、技能の構造を理解する。 ④ 今持っているピッチングやバッティングの技能を生かして、ゲームができる。
	E 球技（ゴール型） ○ハンドボール ○バスケットボール	①個人の技能を高め、相手に応じた練習を工夫して、ゲームができる。 ② チームの中での動きを理解し、ゲームに対応できる練習することができる。 ③ ルールを守り、お互いの安全に留意して活動し、技能向上のために協力し合って練習することができる。 ④ ルールや競技方法を理解することができる。
3 学 期	B 器械運動 ○マット運動	①器械運動に興味・関心を持ち、日常では味わえない回転や逆さになる感覚や技ができるようになることに楽しみや喜びを味わおうとしている。 ②自己の能力に適した技を選び、課題を持って練習したり、技の完成度を確かめたりすることができる。 ③基本的な技は何度もくり返し、条件を変えてもできる。 ④練習の仕方や場所を工夫する練習方法を理解することができる。
	F 剣道 ○剣道	①剣道の特性に興味・関心を持ち、進んで学習しようとしている。 ②武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。 ③正しい基本動作を用いて相手と打ったり受けたりして、練習をすることができる。 ④伝統的な考え方、技の名称や体力の高め方などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・十分に準備運動を行ない、怪我や事故のないように注意しましょう。 ・各授業において柔軟性を高め、体力を増強し能力を高めていくように、補強運動に積極的に取り組みましょう。
	家 庭	・定期テスト発表時に発表された内容を中心に学習しましょう。 ・新しい単元に入ったら、図解中学体育で運動の内容やルールについて調べましょう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	1 学 年	技術・家庭（技術分野）

1 学習のねらい等

学習のねらい	○技術は、生活や産業をどのように変えてきたか、昔の生活と比較して考えることができる。 ○コンピュータや情報手段と生活や社会とのかかわりについて知り、情報を伝える手段の特徴と利用法、情報を扱う際のルールとマナーを身につける。 ○コンピュータやソフトウェアの機能、利用法を知り、基本操作、情報の処理ができるようになる。 ○デジタル作品の設計・製作やプログラムの作成を通して、情報に関する技術のあり方や活用のしかたなどを客観的に判断・評価できるようになる。
使用教材	教科書「新編 新しい技術・家庭 技術分野」（東京書籍） ワークシート 各種ソフトウェア プログラミング教材

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①生活や技術への関心・意欲・態度	製作・実習について関心をもち、真面目な態度で授業や実習に取り組んでいるか。	学習活動の観察（発言・製作のようす） ワークシート・ファイル等の点検 定期テスト
②生活を工夫し創造する能力	製作・実習について、課題を見つけ、その解決をめざしていろいろな方法を自分なりに工夫しているか。	学習活動の観察（発言・製作のようす） ワークシート・ファイル等の点検 定期テスト
③生活の技能	製作・実習に必要な基礎的な技術を身につけて、安全に学習できているか。	製作の観察 ワークシート・ファイル等の点検 定期テスト・技能テスト
④生活や技術についての知識・理解	コンピュータに関する言葉や意味、仕組みについて、知っているか。 計測・制御の仕組みについて、理解できているか。	学習活動の観察（発言・製作のようす） ワークシート・ファイル等の点検 定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 年 2 学 期	技術分野のガイダンス 【情報に関する技術】 コンピュータと情報通信ネットワーク	①技術分野の学習に見通しを持ち、技術が人間の夢をかなえてきたことや、持続可能な未来を創るための技術について考えることができる。 ①コンピュータの構成と機能やソフトウェアの機能に関心をもち、利用するために必要なことについて知ろうとすることができる。 ②情報技術の利用場面に応じて、適正に活動している。 ③コンピュータの起動や終了、周辺機器の操作や情報のデジタル化ができ、情報モラルについて考えることができる。 ④コンピュータの基本的な構成と機能、ソフトウェアの機能に関する知識を身につけ、知的財産権や情報モラルについて理解している。

	デジタル作品の設計・制作	①デジタル作品について興味を持ち、主体的に作品を制作することができる。 ②情報の受け手を意識して使用目的や使用条件を明確にし、デジタル作品を制作している。 ③設計に基づいて制作し、作品を適切に評価・修正して発信できる。 ④デジタル作品の制作にかかわる知識を身につけている。
1 学 年 3 学 期	プログラムによる計測・制御 情報に関する技術の評価・活用	①身の回りの計測・制御システムについて関心を持ち、調べようとするすることができる。 ②使用目的や使用条件に合ったプログラムを工夫することができる。 ③目的に合ったプログラムを作成し、評価・修正することができる。 ④計測・制御システムの基本的な構成やプログラムの表現についての知識を身につけている。 ①情報に関する技術について、環境的、経済的、社会的側面から比較・検討しようとしている。 ②情報に関する技術の評価から、自分の考えを整理し、活用方法を考えることができる。 ③情報に関する技術について、多様な側面から評価することができる。 ④情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割や影響について理解している。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しましょう。 ・先生や友達の話を中心して聞きましょう。 ・黒板に書いたことや授業中に気づいたことをプリントにまとめましょう。 ・製作の際には、安全に注意し、周りの友達と協力して行いましょう。 ・製作で行った手順や工夫点などをしっかり覚えて、復習をしておきましょう。 ・ファイルなどの提出物は期日を守りましょう。
	家庭	・授業で習ったことは早めに復習しましょう。 ・学習したことの中で、生活に生かせる場面があれば、実践してみよう。 ・身の回りのものに目を向け、様々な技術や工夫を探しましょう。 ・家庭にコンピュータがあれば、実際に触って学習した内容を実践してみよう。 ・テストで間違えた問題は復習しておきましょう。 ・テスト前は早めに提出物を終わらせて、余裕を持てるようにしておきましょう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	1 学 年	技術・家庭（家庭分野）

1. 学習のねらい等

学習のねらい	○住まいや住まいの中で営まれている生活に関心を持つことができる。 ○安全で快適な室内環境の整え方を知り、よりよい住まい方の工夫ができる。 ○食事の役割や健康と食事の関わりについて知る。 ○栄養素の種類と働きを知り、中学生の時期に必要な栄養の特徴について考える。 ○簡単な日常食の調理ができる。
使用教材	教科書：『新しい技術・家庭（家庭分野）』（東京書籍） 補助教材：ビデオ，オリジナルワークシート，

2. 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①生活や技術への関心・意欲・態度	・安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について、関心をもって学習活動に取り組み、住生活をよりよくしようとしている。 ・中学生の食生活と栄養について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。	・授業中の態度，課題への取り組み，発表の様子 ・プリント・作品の提出状況 ・準備物のチェック ・自己評価表及び相互評価表
②生活を工夫し創造する能力	・安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。 ・中学生の食生活と栄養について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	・ワークシートに見られる創意工夫 ・提出物に見られる顕著な様子 ・作品上のデザインの工夫 ・実習における活動の工夫（自己評価表，自己チェック表）
③生活の技能	・安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 ・中学生に必要な栄養を満たす食事の取り方に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	・作品の完成度 ・実技テスト(予定) ・自己評価表，自己チェック表 ・レポート，ワークシートの出来
④生活や技術についての知識・理解	・安全で快適な室内環境の整え方と住まいに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・中学生の食生活と栄養に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	・定期テスト，小テスト ・レポート，ワークシートの内容

3. 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
2・3 学期	< A 家族・家庭と子どもの成長 > ○小校家庭科の学習内容の振り返り ○3 学年間の学習内容について A 家族・家庭と子供の成長 B 食生活と自立 C 衣生活・住生活と自立 D 身近な消費生活と環境	①家庭生活・食生活・衣生活・住生活について興味・関心を持ち、学ぼうとしている。 ②3 学年間の学習内容を理解することができる。
	< C 衣生活・住生活と自立 > ○住生活と自立 1 住まいの役割とは何だろう 2 家族と住まいのかかわりを考える 3 安全で安心な住まいについて考える 4 健康を考えた住まいと住まい方を考える ・掃除実習・通風、換気について ・快適さは何によって作られるか	①住まいに関心を持ち、住まいの役割について意欲的に学ぼうとしている。 ②自分や家族の生活行為と住空間の関わりについて考える。 ③家庭内事故や震災対策の具体例から、安全な住まい方や安全管理の方法を発表したりノートにまとめたりすることができる。 ④暑さ・寒さ・明るさ・通風・換気をよくする方法や工夫を考え説明することができる。 掃除の計画を適切に立てることができ、汚れに応じた手入れの仕方について理解している。
	< B 食生活と自立 > ○食生活と栄養 1 食事の役割を考えよう 2 栄養素の種類と働きを知ろう 3 食品栄養素を知ろう 4 バランスのとれた食生活を考えよう 5 調理の基本 ・糖度計でジュースの糖度を知る ・玉子焼きのテスト(予定) ・野菜の切り方のテスト(予定)	①食品に含まれる栄養素とそのはたらきについて関心をもち、意欲的に学ぼうとしている。 栄養素の種類と働きを知り、中学生の時期に必要な栄養の特徴を見い出し、栄養摂取について説明できる。 ②中学生の時期の栄養の特徴について自分の食事とかかわらせて考え、バランスのとれた食事のとり方について考えることができる。 ③調理の基本を身につけ、簡単な日常食の調理をすることができる。 ④調理の要点を理解し、調理に必要な手順や時間を考え、準備をすることができる。

4. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	・テスト前に復習する時のために、よくわかるように工夫してまとめよう。 ・授業での忘れ物は、自分が困るだけでなく、周りの子にも迷惑をかけることになりま - す。忘れ物のないように気をつけましょう。 ・プリントは第2の教科書になります。授業中の要点や板書をメモし、すべてファイルに - とじてしっかり保管しましょう。
	家庭	・定期テスト前にはワークシートを見直そう。 ・実技テスト(予定)に向けて、家で何回か練習しておこう。 ・学習したことを、生活において実践へとつなげよう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	1 学 年	英 語

1 学習のねらい等

学習のねらい	○外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めましょう。 ○外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけましょう。 ○聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養いましょう。
使用教材	教科書：NEW CROWN（三省堂） 補助教材：問題集「新英語のワーク」（明治図書） ノート「English Master Notebook 1 前／後」（明治図書）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	・授業中の取り組み ・提出物の点検 ・プリント・ノート等への書き込み ・ペアワーク、グループワークの取り組み
②外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している	・授業中の取り組み ・Q&A、スピーチ等パフォーマンステスト ・プリント・ノート等への書き込み ・定期テストや単語テスト
③外国語理解の能力	外国語を聞いたり、読んだりして、話し手や聞き手の意向などを理解している。	・授業中の取り組み ・プリント・ノート等への書き込み ・リスニング ・定期テストや単語テスト、音読テスト
④言語や文化についての知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	・プリントへの書き込み ・定期テストや単語テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1学期	◆Get Ready 1-4 英語の音や文字に興味・関心を持つ ◆Lesson 1 I Am Tanaka Kumi.（自己紹介など） I am ～. You are ～. Are you ～? Words and Sounds 1（数字） Let's talk 1 はじめまして Please call me～. ◆Lesson 2 My School（第三者や物の紹介） This is ～. That is ～. Is this ～? He is ～. She is ～. What is this? Words and Sounds 2 曜日と教科 Let's talk 2 What time is it? ◆Lesson 3 I Like Soccer.（一般動詞） I like ～. Do you know ～? I do not play ～. What do you have～? Words and Sounds 3 季節と月 Let's talk 3 Where is ～どこにありますか。 ◆Lesson 4 Field Trip Use～/Don't use ～/let's ～（命令文）	①「簡単なあいさつ」「自己紹介」「第三者やものの紹介」を使った英文を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 ②「簡単なあいさつ」「自己紹介」「第三者やものの紹介」を英語で話したり、書いたり、人に質問したりできる。 ③「簡単なあいさつ」「自己紹介」「第三者やものの紹介」を英語で聞いたり、読んだりして内容をつかむことができる。 ④「be動詞」や「一般動詞」を使った英文の構造を理解し、説明することができる。

2 学 期	◆Lesson 4 Field Trip Two bags. (複数形) How many～? (数の尋ね方) Let's talk 4 買い物をしよう How much is ～? ◆Lesson5 Our New Friend When/who is～? where do you ～? When do you ～? (疑問詞) him/her (目的語で使われる代名詞) Let's talk 5 これ誰の Whose～is this? ◆Lesson 6 My Family Miki plays ～ (三人称単数現在形) Does Miki play～? Miki does not play～ Where /When does Miki～? Let's talk 6 お昼ご飯を食べよう What time do you ～? ◆Lesson 7 Sports for Everyone (助動詞can) Koji can play～ Can Koji play～? Koji cannot play～ Let's talk 7 電話をしよう Can you～?	①「複数形」「三人称単数形」「さまざまな疑問詞」「助動詞」を使った英文を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 ②「複数形」「三人称単数形」「さまざまな疑問詞」「助動詞」を使った英文を、話したり、書いたりできる。 ③「複数形」「三人称単数形」「さまざまな疑問詞」「助動詞」を使った英文を、聞いたり、読んだりして内容をつかむことができる。 ④「複数形」「三人称単数形」「さまざまな疑問詞」「助動詞」を使った英文の構造を理解し、説明することができる。
3 学 期	◆Lesson 8 School Life in USA (現在進行形) Tom is playing～, Is Tom playing～? Tom is not playing～ Let's talk 8 公園に行こう How can we go to～? ◆Lesson 9 Four Seasons Amy played. (過去形) Did Amy play ～? Amy did not play～. Amy went～. Let's talk9 どうして好きなの? Why～? ◆Let's Read Alice and Humpty Dumpty	①「現在進行形」「過去形」を使った英文を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 ②「現在進行形」「過去形」を使った英文を、話したり、書いたりできる。 ③「現在進行形」「過去形」を使った英文を、聞いたり、読んだりできる。 ④「現在進行形」「過去形」を使った英文の構造を理解し、説明することができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	1年生では英語の発音やリズム、イントネーションに慣れ親しみながら英語の言語材料を学んでいきます。また、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」をバランスよく取り入れたコミュニケーション活動を通して、実際に英語を使うことで英語の力を伸ばしていきましょう。そのために、 1. 英語をよく聞こう！ 2. しっかりと声に出して、聞いた英語をまねしてみよう！ 3. 単語や文を、発音しながら書いてみよう！ 4. 間違いを気にせず、とにかく英語を使ってみよう！
	家 庭	[予習] 単語調べ (英和辞典使用) と本文写し [復習] ・音読テスト勉強 ⇒ 教科書の音読をしながら英文を書く ・単語テスト勉強 ⇒ 単語テストで書けなかった単語を書く ・学校で習ったことを、その日のうちにワークで復習する。 [その他] ・テレビやラジオの英語番組を見聞きする。 ・英検を受ける。